

**令和３年度第 76 回国体県予選会兼第 48 回東北総体県予選会
審判・監督会議資料**

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②本予選会は「山形県空手道連盟 感染拡大防止ガイドライン」に沿って運用し、実施要項別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」を承諾したうえで参加することとする。
- ③新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策として、本予選会は無観客とする。
- ④全参加者及び該当者は別紙「新型コロナウイルス感染症対策について」に記載されている以下の書類を受付時に記載及び提出すること。
 - ・連絡先確認用紙兼健康管理チェックシート（事前用）：全参加者提出
 - ・健康管理チェックシート（当日記載用）：全参加者記載
 - ・PCR検査陰性証明書：該当者のみ提出
- ⑤審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判においては出欠確認のみ、監督は受付時に棄権する選手を報告すること。
- ⑥開会式、閉会式は密を避けるため実施せず、競技の開始は審判長の開始の発声のみにする。
- ⑦整列する際は１ｍ以上離れて並ぶこと。
- ⑧ゴミは各自お持ち帰ること。（会場内にゴミ箱はありません）

(2) 審判員

- ①不織布マスク、フェイスシールド、手袋を装着して審判を行うこと。不織布マスク、フェイスシールドは各自準備すること。（主催者では準備しない）
- ②笛は使用せず、電子ホイッスルを使用する。判定時の合図は監査が行う。
- ③形競技において、感染予防のため審判員席は所定の位置より１ｍ離れた場所に設定する。
- ④競技中、指定された席を必要以上に離れないこと。
- ⑤審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①コートへの入退場時、整列時はマスクを着用し、隣の選手及び前の選手との距離は１ｍ以上間隔を空けて整列すること。
- ②形名の呼称や気合い等を発声する際は、大声での過度な発声を禁止する。
- ③組手競技においてマウスシールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。
- ④選手同士及び監督との握手、ハイタッチ、ハグ、出迎え、送り出しは行わないこと。
- ⑤更衣室は女子のみの利用とし、ロッカー、シャワーは利用不可とする。ヘアセットは入場前に行うこと（更衣室内は飲食禁止）。男子の更衣は練習会場にて行うこと。

(4) 監督

- ①監督はあらかじめ届出があった者とし、役員及び審判と兼ねることはできない。但し、高校生については所属校の監督のみ認める。
- ②監督席では大きな声での過度な発声を禁止する。
- ③監督はトラックスーツ（半袖可）とし、県連指定の腕章とＩＤカードを装着すること。但し大会役員を兼ねている場合はその限りではない。

- ④監督は予選会が円滑に進行するよう、該当地区・学校の選手に取り決め事項やマナー等を遵守するよう指導・管理すること。

2. 競技について（実施要項記載以外）

（１）形競技

- ①得意形以外は全て２人制で行う。
- ②２人制では時間短縮のため、斜め入りとし、コートのコーナー部からの入退場時の礼は行わない。
- ③連続して試合を行う場合のインターバルは１分間とし、赤と青が入れ替わる場合は帯を交換してから１分間とする。

（２）組手競技

- ①１０カウントルールは採用する。（ドクター有の場合）
- ②メンホーにマウスシールドを装着することを義務付ける。
- ③連続して試合を行う場合のインターバルは試合時間と同時間とし、赤と青が入れ替わる場合は防具等を交換してから計測する。

（３）審判員実施事項

- ①競技規定第９条 ウォーニング及びペナルティ（競技を中断することなく使用される合図の導入について）
競技を中断することなく競技の続行と競技を分ける合図を導入する。
 - ・「つづけて」－競技の続行
無断で競技を中断した場合、あるいは双方が技を出さない場合、主審は競技を続行するよう非公式に合図する（競技者をコートに入れる時と同じジェスチャー。ジェスチャーとともに「つづけて」と発声する）。
 - ・「わかれて」－競技者を分ける
組み、又は胸と胸を合わせる競技者に発声（「わかれて」）を伴いながら、手のひらを外側に向けて分ける合図をする。
- ②組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。
- ③審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じ場合は、審判長又はコート長（ＴＭ）の判断により、審判団に編成することがある。

3. 質疑について

- （１）予選会当日は従来の審判会議、監督会議は実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へ期日までメールで送付すること。後日、質疑内容とその回答を通達する（ホームページ掲載）。

（２）質疑申込書の提出について

【提出期限】 令和３年 月 日

【提出先】 事務局長 山村伸行 宛 メールアドレス yamamu990@yahoo

o.co.jp